

"Performance" Through Chemistry

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

三洋化成工業株式会社

コード：4471



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2025年11月4日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社
経営企画本部 コーポレート・ガバナンス部
E-mail : pr-group@sanyo-chemical.group

創 立：1949（昭和24）年11月1日

本 社：京都市東山区

資 本 金：13,051百万円

国内支社・営業拠点：京都、東京、名古屋、広島、福岡

国内工場：名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎（サンケミカル）

従業員数：1,669名（連結）[2025年9月30日現在]

事業内容：約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス（機能化学品）の製造・販売

2026年3月期第2四半期(中間期)業績

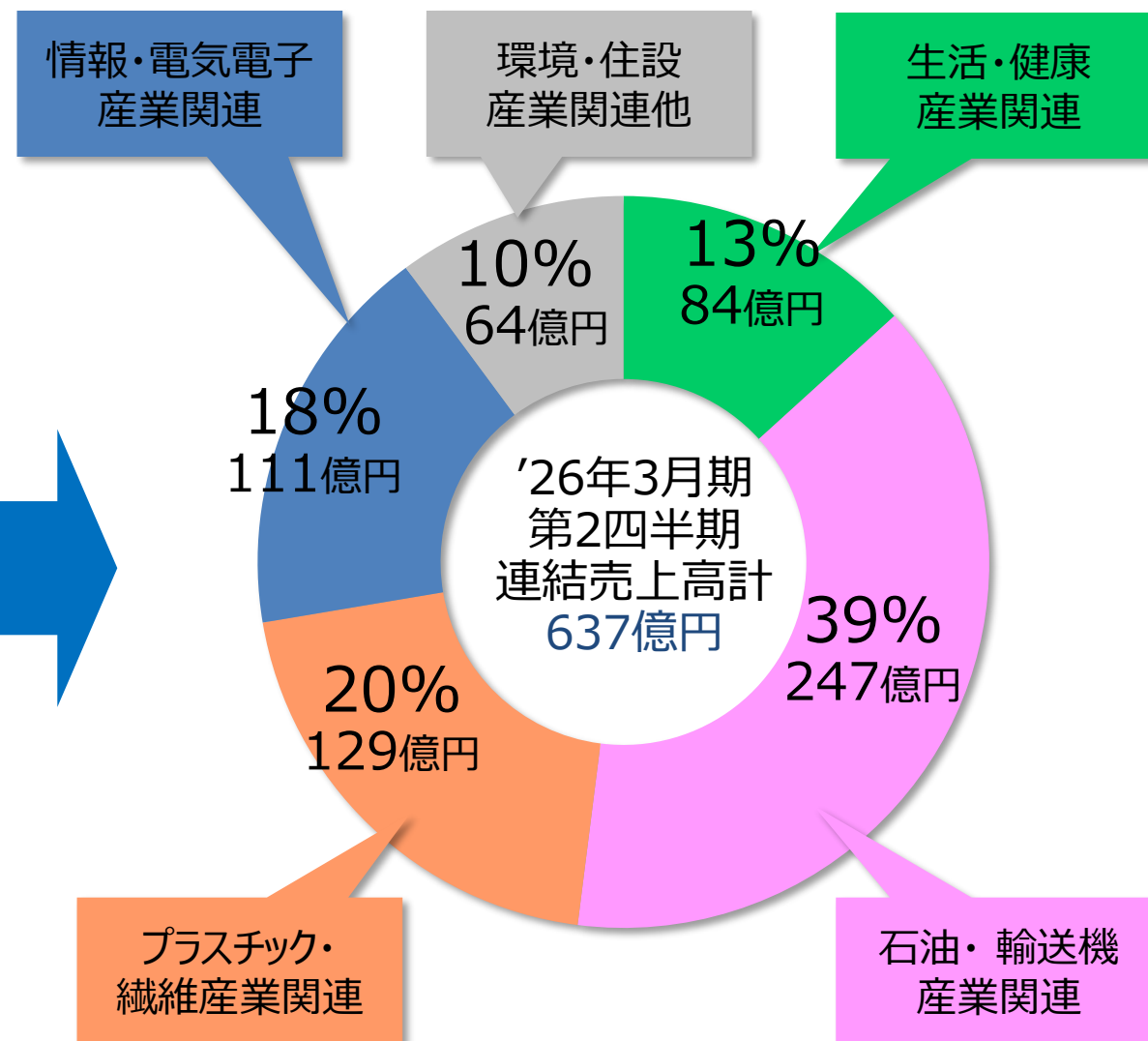
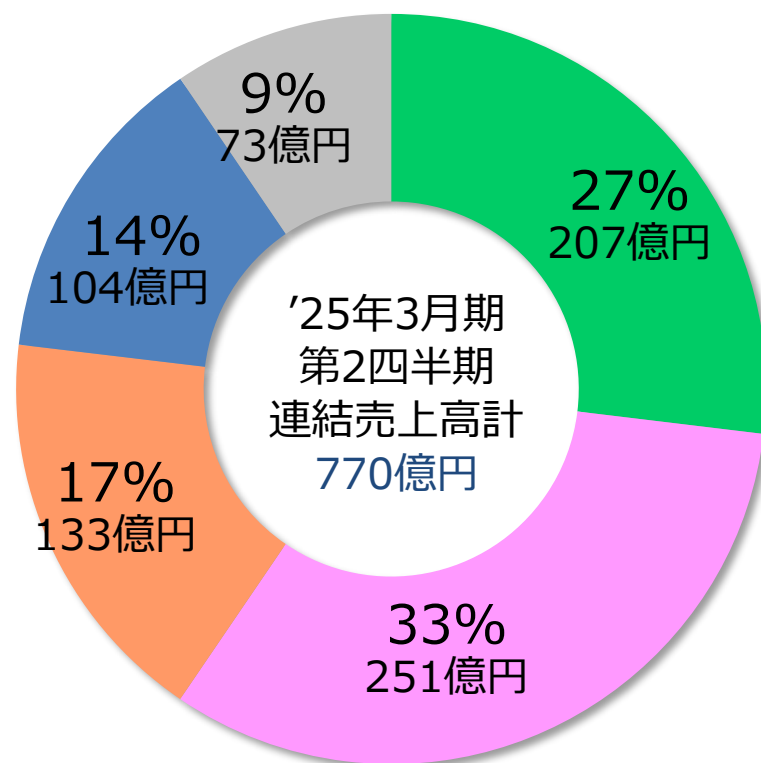


(億円, %)

連 結	'25年3月期 第2四半期	'26年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	770.3	637.7	▲132.5	▲17.2
営業利益	44.5	42.9	▲1.6	▲3.7
経常利益	49.9	50.3	0.3	0.8
親会社株主に帰属する 中間期純利益	9.4	104.1*	94.7	1,007.9
包括利益	▲5.4	148.8	154.3	-

* 2025年8月1日に公表しました「繰延税金資産の計上および2026年3月期 第2四半期（中間期）ならびに通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、繰延税金資産ならびに法人税等及び法人税等調整額を含む税金費用（益）80億円を計上しております。

連結産業分野別売上高構成

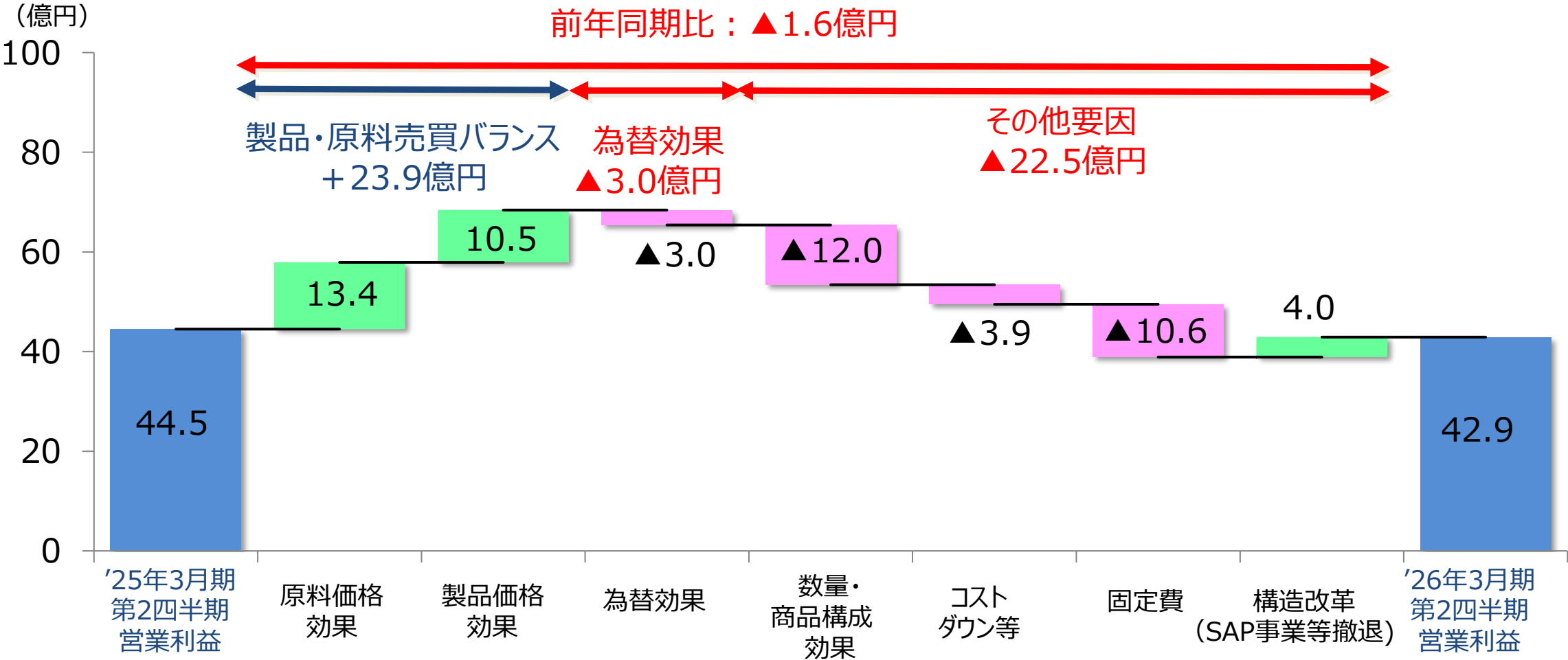


連結産業分野別業績

(億円)

産業分野	売上高			営業利益		
	'25年3月期 第2四半期	'26年3月期 第2四半期	増減額	'25年3月期 第2四半期	'26年3月期 第2四半期	増減額
生活・健康産業関連	207.2	84.6	▲122.6	2.5	▲1.2	▲3.8
生活産業関連	70.4	62.0	▲8.3			
健康産業関連	136.8	22.5	▲114.3			
石油・輸送機産業関連	251.1	247.0	▲4.1	21.1	28.9	7.7
プラスチック・繊維産業関連	133.8	129.7	▲4.0	14.2	10.2	▲4.0
プラスチック産業関連	95.8	92.7	▲3.1			
繊維産業関連	37.9	37.0	▲0.9			
情報・電気電子産業関連	104.8	111.6	6.8	12.0	13.6	1.5
情報産業関連	54.1	55.5	1.4			
電気電子産業関連	50.6	56.0	5.4			
環境・住設産業関連他	73.1	64.6	▲8.5	▲0.0	▲1.8	▲1.7
新規事業に係る研究開発費				▲5.4	▲6.7	▲1.3
合計	770.3	637.7	▲132.5	44.5	42.9	▲1.6

連結営業利益の前年同期比増減要因



サプライチェーン全体の改革（ものづくり大改革）の効果： 25年度2Q実績 + 3.4億円（上記の内数）

▲0.1	+2.0	—	—	+1.1	+0.4
------	------	---	---	------	------

連結純利益の前年同期比増減要因

(億円)

	'25年3月期 第2四半期	'26年3月期 第2四半期	増減額
営業利益	44.5	42.9	▲1.6
持分法投資損益	4.6	▲0.5	▲5.1
為替差損益	▲4.4	1.0	5.4
その他営業外損益	5.1	6.8	1.6
経常利益	49.9	50.3	0.3
投資有価証券評価損	▲0.0	▲1.1	▲1.0
減損損失	▲3.0	-	3.0
固定資産除却損	▲3.0	▲6.9	▲3.8
構造改革費用	▲21.5	▲2.2	19.2
税金等調整前中間純利益	22.1	39.9	17.8
法人税等	▲9.2	67.9	77.1
非支配株主に帰属する中間純利益	▲3.5	▲3.7	▲0.2
親会社株主に帰属する中間純利益	9.4	104.1	94.7

連結貸借対照表

(億円)

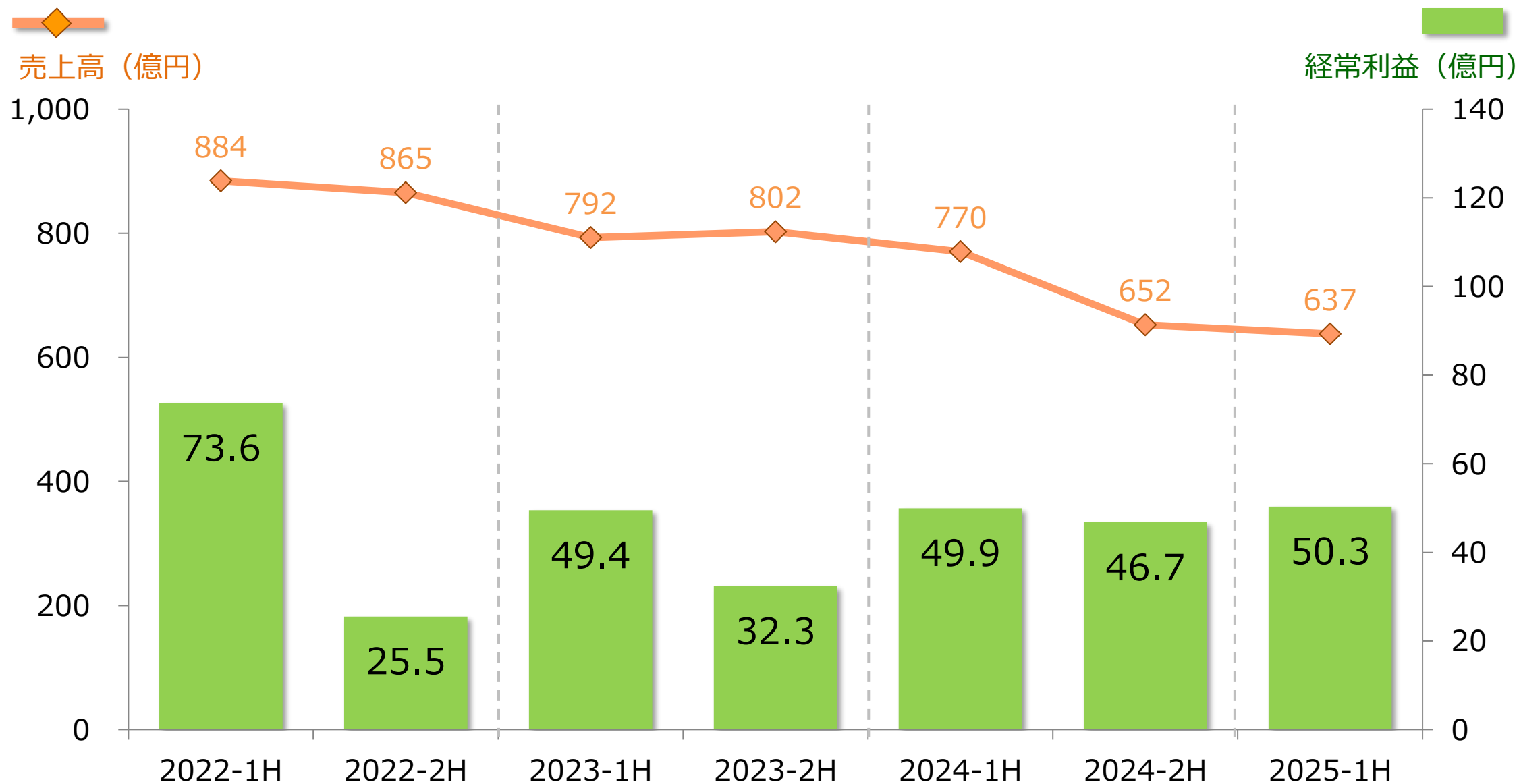
	2025年 3月31日	2025年 9月30日	増減額	主な増減要因
流動資産	849	879	30	現金及び預金（40）、受取手形及び売掛金・電子記録債権（▲5）、商品及び製品（▲9）
固定資産	914	981	67	有形固定資産（▲8.4）、投資有価証券（47）、繰延税金資産（35）
資産合計	1,763	1,861	97	
流動負債	303	309	6	買掛金・電子記録債務（7）、未払金（▲6）
固定負債	77	39	▲37	繰延税金負債（▲28）、事業構造改革引当金（▲8）
負債合計	380	349	▲31	
株主資本	1,206	1,293	86	利益剰余金（86）
その他 包括利益	147	188	41	その他の有価証券評価差額金（35）
非支配株主持分	29	30	1	
純資産合計	1,383	1,512	129	
負債・純資産合計	1,763	1,861	97	

連結キャッシュフロー計算書

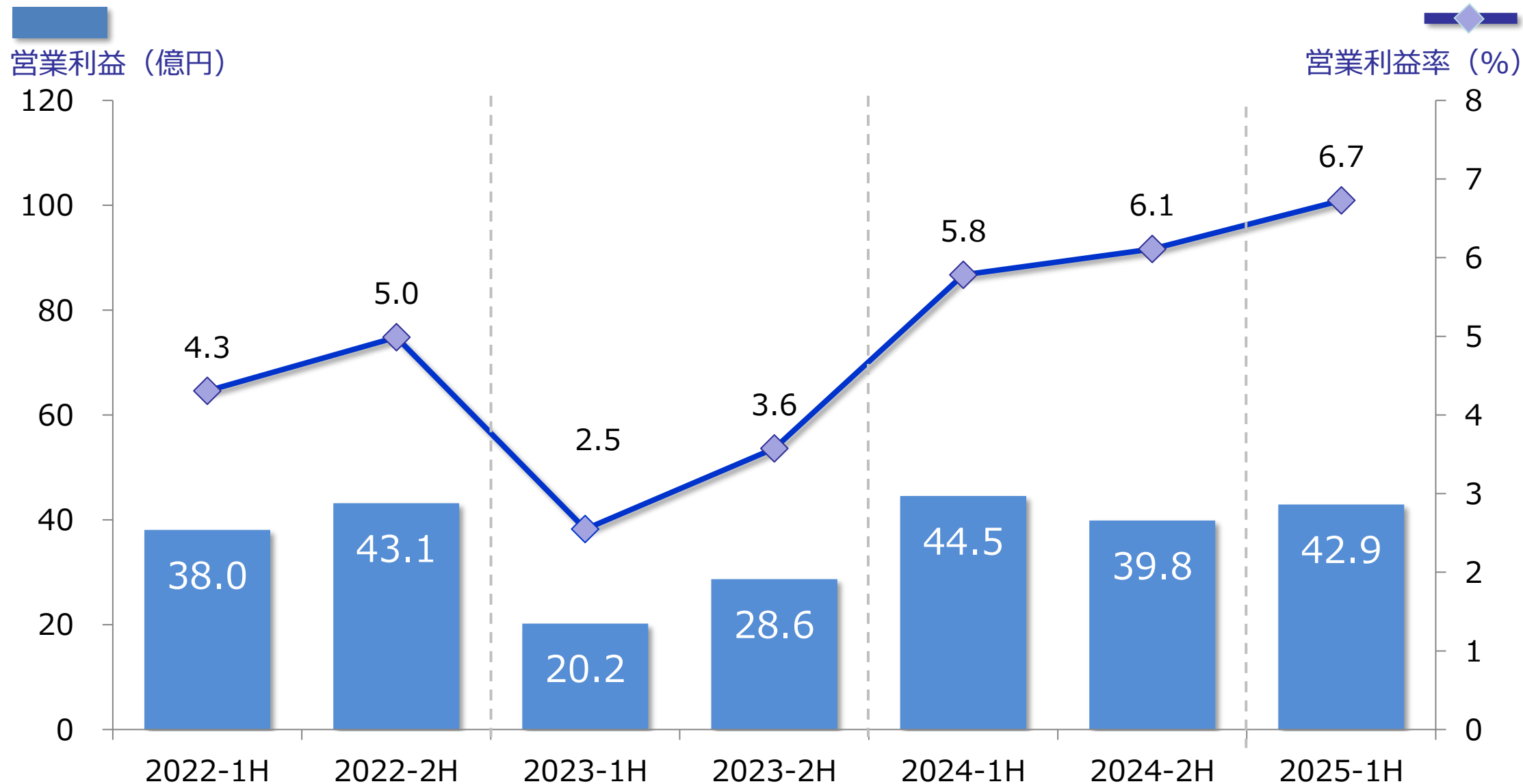
(億円)

	'25年3月期 第2四半期	'26年3月期 第2四半期	増減額	特記事項
営業活動CF	49.0	91.9	42.8	
税金等調整前純利益	22.1	39.9	17.8	
減価償却費	51.1	45.9	▲5.2	
固定資産除却損	3.0	6.9	3.8	
持分法投資損益	▲4.6	0.5	5.1	
構造改革費用	21.5	2.2	▲19.2	
運転資金の増減	27.1	17.8	▲9.3	
事業構造改革に伴う支払	▲36.6	▲8.9	27.7	
法人税等	▲12.2	▲7.5	4.7	
その他	▲22.5	▲5.1	20.3	
投資活動CF	▲34.7	▲29.0	5.7	固定資産の取得 '24/1H : ▲38.7、'25/1H : ▲31.0
フリーCF	14.3	62.8	48.5	
財務活動CF	▲67.7	▲23.9	43.8	借入・返済 '24/1H : ▲46.0、'25/1H : ▲2.4
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲1.1	1.2	2.4	
現金及び現金同等物の 増減額	▲54.6	40.1	94.8	
連結範囲の変更に伴う 現金同等物の増加	-	3.6	▲3.6	
現金及び現金同等物の 期首残高	271.8	240.1	▲31.7	
現金及び現金同等物の期末残高	217.2	283.9	66.7	

連結業績の推移（半期）

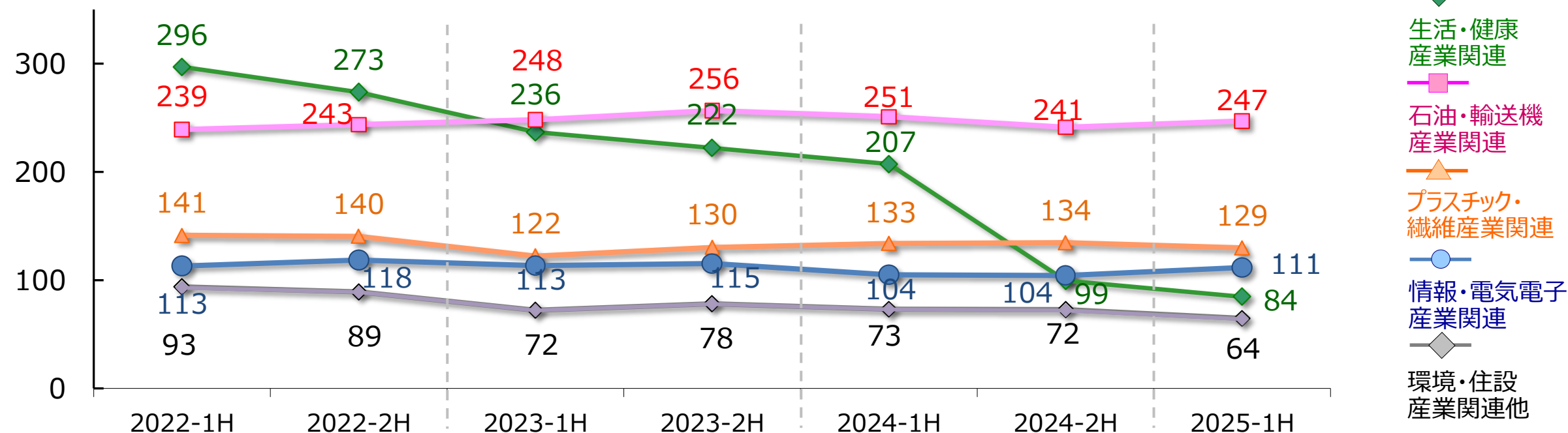


連結営業利益（同率）の推移（半期）



連結産業分野別売上高の推移（半期）

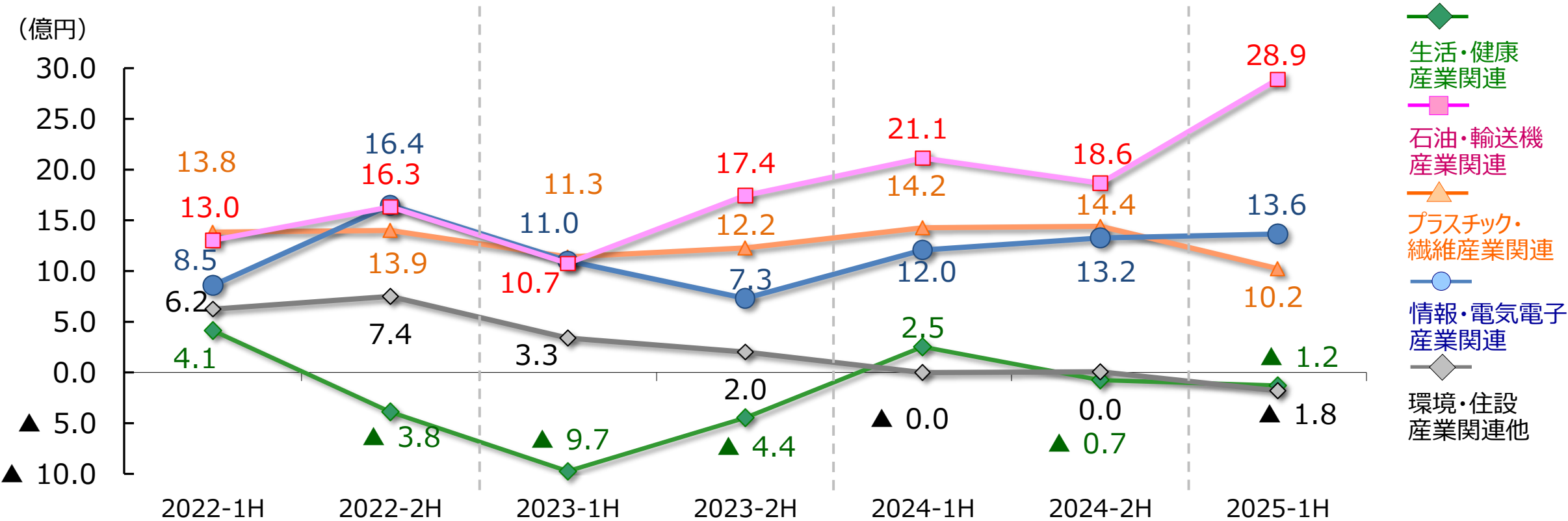
(億円)



当期（上期）業績の主な増減要因（前年同期比）

- 生活・健康 : SAP事業撤退に伴い売上高が大幅に減少
- 石油・輸送機 : 【石油】潤滑油添加剤の需要は堅調に推移しているものの、前年同期に一時的な需要増があったことにより、売上高は横ばい
【輸送機】ポリウレタンフォーム用原料が海外安価品の攻勢により事業環境の厳しさが増したことで、国内外向けともに低調となり、売上高は減少
- プラスチック・繊維 : 【プラスチック】永久帯電防止剤の需要が回復し堅調に推移しましたが、塗料・コーティング用薬剤が低調に推移したことから、売上高は減少
【繊維】合成皮革用・弾性繊維用ウレタン樹脂の需要は回復したものの、風力発電用風車向けの炭素繊維用薬剤が低調となり、売上高は減少
- 情報・電気電子 : 【情報】重合トナー用材料が中国での生産事業からの撤退等により低調となったが、トナーバインダーの需要が回復傾向にあり、売上高は横ばい
【電気電子】アルミ電解コンデンサ用電解液がEV市場の回復遅れで低調に推移したが先端半導体市場が堅調に推移し関連材料が売り上げを伸ばし、売上高は増加
- 環境・住設他 : 【環境】高分子凝集剤用のカチオンモノマーが復調気配であるものの、重金属固定化剤の需要低迷により、売上高は低調に推移
【住設】家具・断熱剤などに用いられるポリウレタンフォーム用原料が海外安価品の攻勢により事業環境の厳しさが増したことで、売上高は大幅に減少

連結産業分野別営業利益の推移（半期）



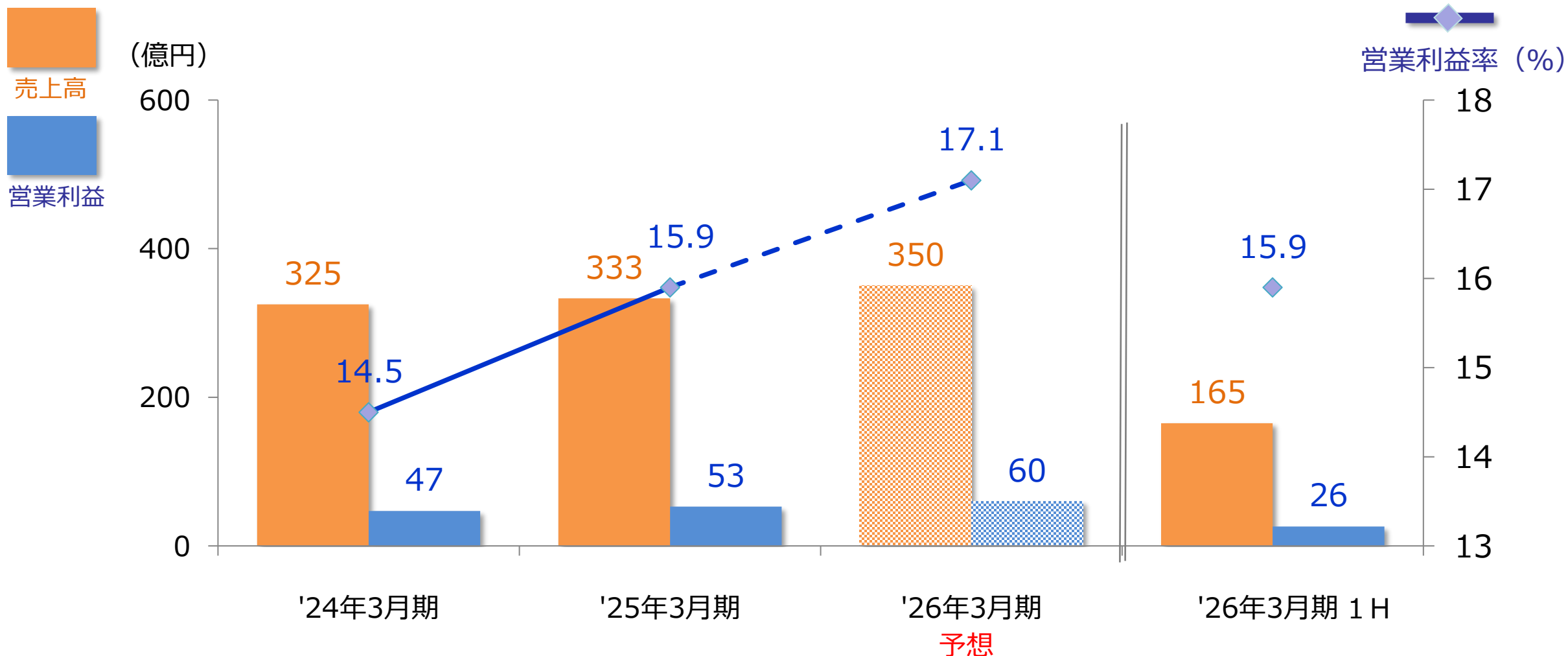
新規事業に係る研究開発費（億円）

'23年3月期		'24年3月期		'25年3月期		'26年3月期
1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H
▲7.7	▲7.2	▲6.6	▲5.8	▲5.4	▲5.7	▲6.7

高付加価値製品群の推移

新中期経営計画2025において、カーボンニュートラルおよびQOL（生活の質）の向上に貢献する注力 5 製品群を「高付加価値製品群」として位置づけ、さらなる成長加速を目指しています。

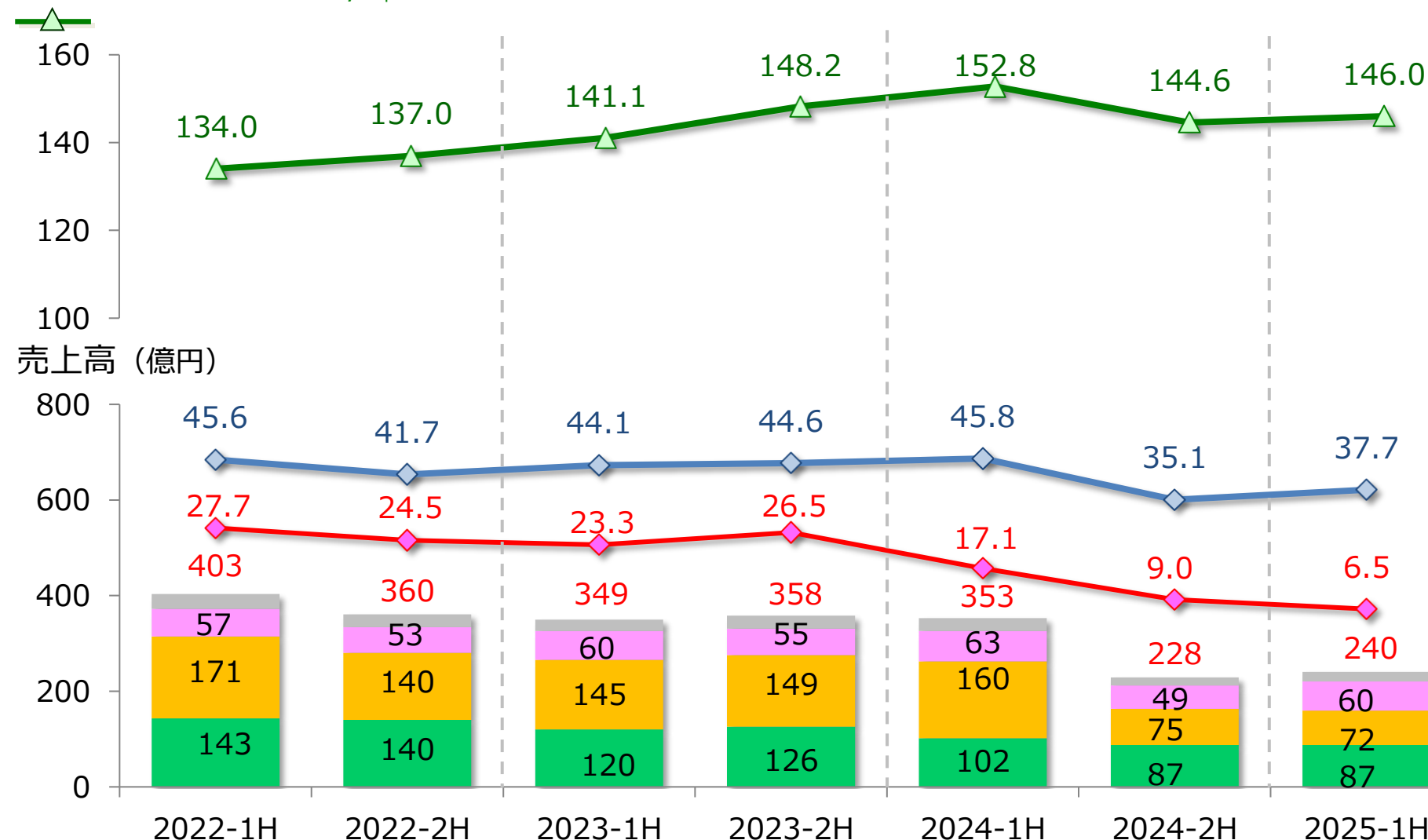
高付加価値製品群：特殊繊維用薬剤、特殊電子部品用薬剤、潤滑油添加剤、永久帯電防止剤、医療・医薬関連



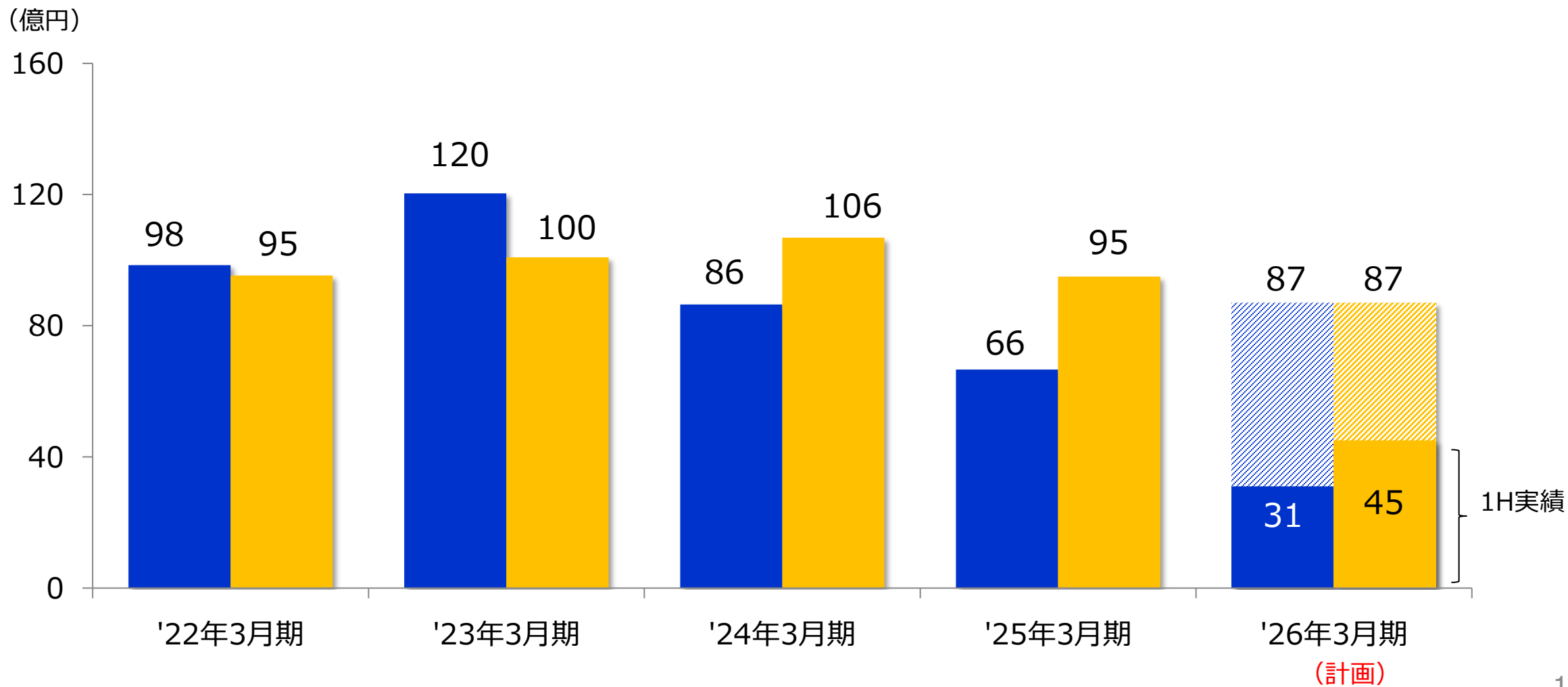
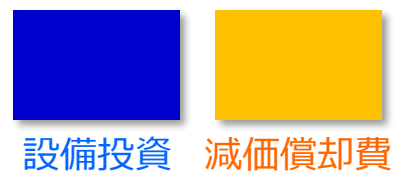
製品群	トピックス
特殊繊維用薬剤	海外の風力発電用風車に向けた炭素繊維用薬剤が低調
特殊電子部品用薬剤	非車載用はAI向けが好調だが、車載用はアルミ電解コンデンサ用電解液がEV市場の回復遅れにより低調に推移
潤滑油添加剤	前年同期に一時的な需要増があったことにより、セグメントの売上高は横ばいだが、潤滑油添加剤の需要は堅調に推移
永久帯電防止剤	半導体・電子部品関連の需要回復により、永久帯電防止剤の需要は堅調
医療・医薬関連	大腸内視鏡検査用用途が、海外での競争激化により低調

海外売上高の推移（半期）

為替（期中平均）（円 / \$）



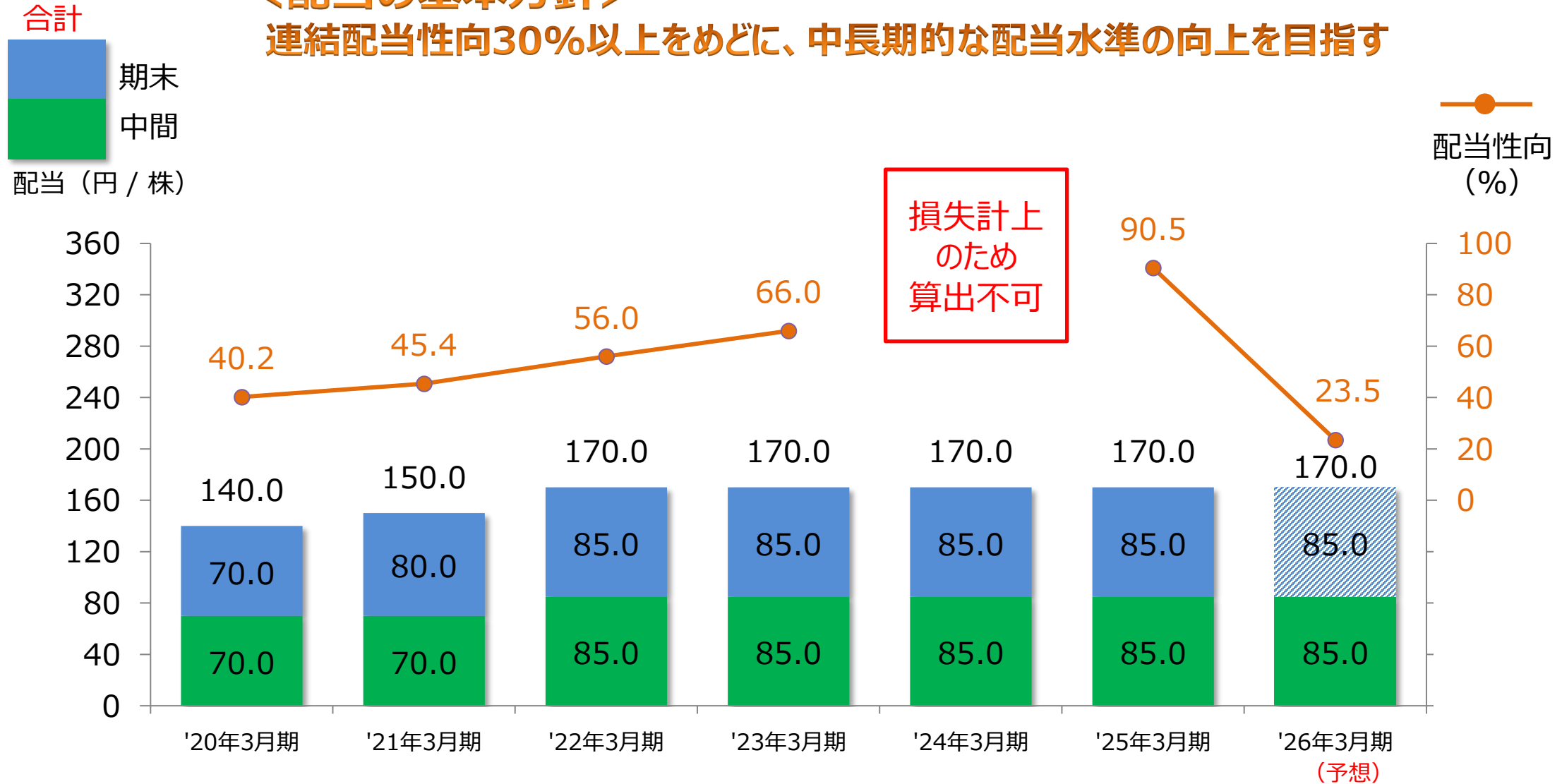
設備投資と減価償却（連結）



1株あたり配当と配当性向の推移（連結）

＜配当の基本方針＞

連結配当性向30%以上をめどに、中長期的な配当水準の向上を目指す



TOPICS

PFASフリー・ガリウム系光酸発生剤

◆特長

環境対応と高性能を両立

☑高いUV硬化性・透明性・低腐食性

☑ PFAS※フリー・毒劇物非該当（Sbフリー）

環境負荷低減と製品の高性能化を支えることで、持続可能な社会に貢献

樹脂の透明性比較

一般的な
酸発生剤使用

サンアプロの
酸発生剤使用



<加熱後(200℃10分)>

※OECD定義

アルミ電解コンデンサ用「サンエレック」

◆「サンエレック」の特長

電解液として使用することで以下の効果

☑広い温度領域で高い電気伝導率

☑高温での長期間安定性に優れる→**長寿命化**
信頼性に優れる製品



◆アルミ電解コンデンサの市場

アルミ電解コンデンサの市場は右肩上がり

今後もAIデータセンター需要拡大に伴い、アルミ電解コンデンサの世界市場需要は拡大する見込み

外科手術用止血材「Hydrofit®」

◆特長

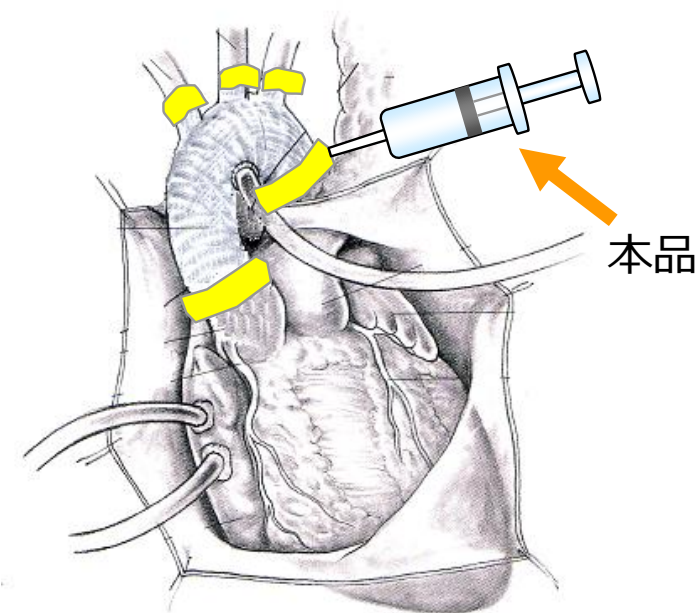
- ・心臓血管外科手術に有用(脳血管を除く全ての血管に適用可)
- ・安全性と使いやすさを追求
- ・ウレタンによる反応により、湿潤下での止血を実現
- ・非生物由来成分を使用

◆長期にわたる実績

- ・国内実績は、10年以上
- ・MDR(MDD)認証を得て、2019年より欧州へ展開

◆今後、更に世界へ

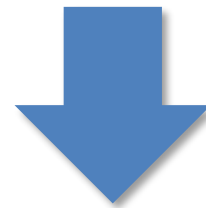
- ・FDAの承認を取得し、米国での展開へ



胸部大動脈置換術

サプライチェーン全体の改革（ものづくり大改革）	（億円）
中計期間増分目標（対22年度比）	+30.0
22年実績 vs 25年予想値	+38.0
25中計目標値との差	+8.0

25年度上期までで約34億円の改善効果あり。3年間の計画と比較して+ 8 億円は見込め、ソフト面での改革は一定の効果を得られた。

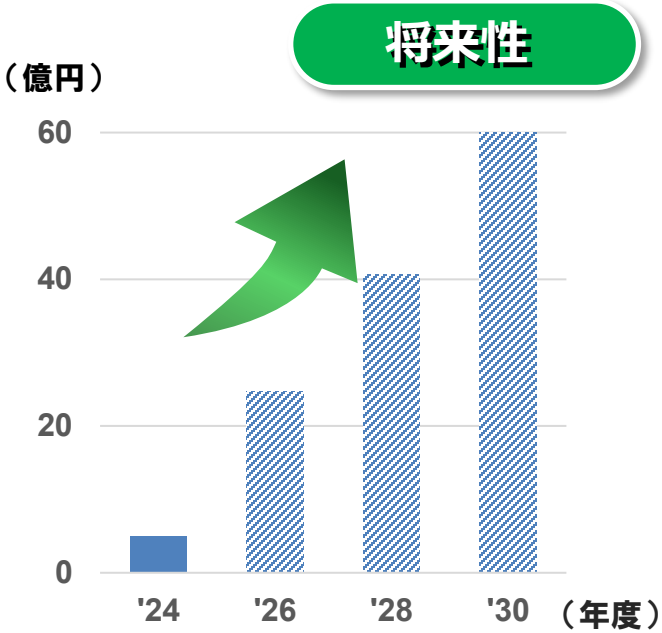


今後は生産設備統合（ハード）を実施し、反応設備の集約と自動化による生産固定費の改善へ

シルクエラスチン®

- ・創傷治癒材用途は、本年度中に保険償還予定
- ・半月板再生材用途に関しては2025年10月に企業治験を開始し、12月に患者投与を始める予定
- ・その他用途に関しては、興味頂いた共同研究先(アカデミア等)主体で基礎データを取得中

用途	共同研究先	概要	形態	着想・研究	非臨床	臨床	薬事	上市(年度)	当社推定末端市場規模
創傷治癒材	京都大	慢性創傷、難治性創傷等の皮膚欠損を治癒させ重症化を回避	スポンジ	→				25年(日) 26年(米)	90億円(日) 900億円(米)
半月板再生材	広島大	血流が乏しく再生しにくい半月板を組織再生させ健康寿命延長	水溶液	→				28年(日) 28年(米)	100億円(日) 3,000億円(米)
筋肉再生材	広島大	捻挫等の筋断裂を再生させ、早期社会復帰、スपोर्टス復帰を実現	水溶液	→				—	20億円(日) 60億円(米)
肺リーク塞栓材	福岡大	肺がん等の肺切除に伴う空気漏れをSEで塞栓、組織再生を促す	スポンジ	→				—	10億円(日) 30億円(米)



2030年度には日米で
60億円の営業利益の
創出を目指す

匂いセンサー「FlavoTone®」

- ・JR東日本の駅トイレの清掃効率化に向け、実証実験を開始
(11月より新たに5駅で試験運転中)
- ・他鉄道各社のご要望に沿ってPoC計画中



卓上機

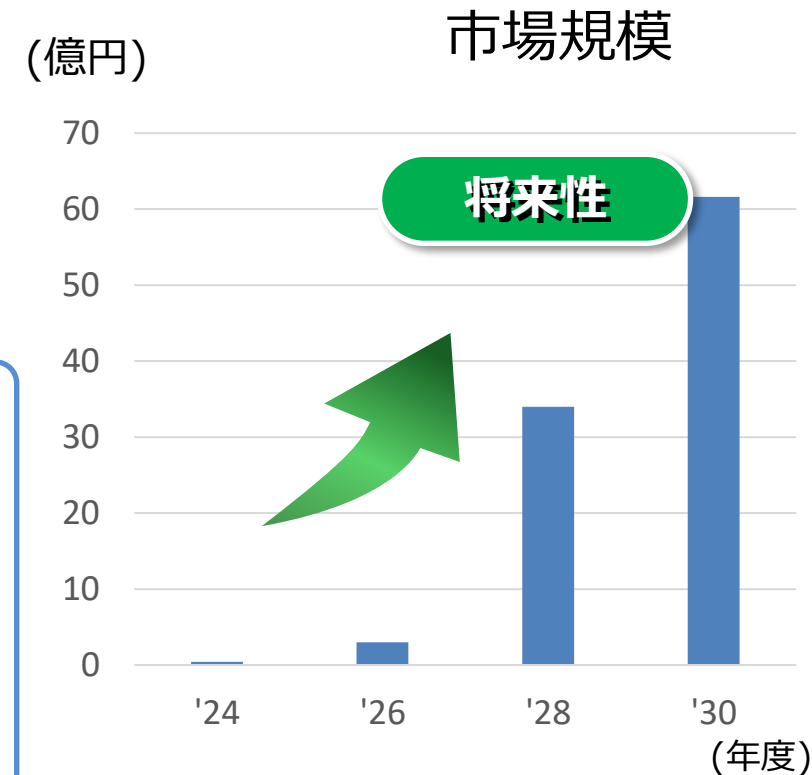


小型機

臭気識別の実証試験



遠隔からトイレの衛生状態をリアルタイムで把握し
少ない労力での高品質な清掃サービスの実現に貢献します





統合報告書



サステナビリティサイト

弊社コーポレートサイトからご覧いただけます

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability/library/>

ステークホルダーの皆様との対話の充実を目指してまいります

参考資料

産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康 産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤
	健康産業関連	医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、EIA（酵素免疫測定法）用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ（TUB）、ポリウレタンフォーム用原料（PPG）、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック ・繊維 産業関連	プラスチック 産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、塗料用樹脂、消泡剤、ポリウレタンエラストマー原料、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報 ・電気電子 産業関連	情報産業関連	重合トナー用材料、トナーバインダー
	電気電子 産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、カチオンモノマー、家具・断熱材用PPG、泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、セメント用薬剤



三洋化成グループ

● 連結子会社 ○ 持分法適用会社

国内

- サンポコ（株）
- サンケミカル（株）

● サンアプロ（株）

○（株）サン・ペトロケミカル

海外



● 三洋化成（上海）貿易有限公司



● 韓国三洋化成（株）



● 台湾三洋化成股份有限公司



● Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



● Sanyo Chemical America Incorporated

● Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

○ Sunrise Chemical LLC

物流・サービス

○ 塩浜ケミカル倉庫（株）

その他の子会社・関連会社：

San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.

DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.

韓国三洋化成製造（株）

San Nopco (Korea) Limited

国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
(東山区、約2.6万m²)



鹿島工場
(茨城県神栖市、約13.0万m²)



名古屋工場
(愛知県東海市、約10.0万m²)



衣浦工場
(愛知県半田市、約14.0万m²)



サンケミカル 川崎工場
(神奈川県川崎市、約1.3万m²)



韓国三洋化成製造株式会社



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

海外営業拠点

 三洋化成(上海)貿易有限公司
San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.
DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.



 韓国三洋化成株式会社
San Nopco (Korea) Limited

 Sanyo Chemical America Inc.



 台湾三洋化成股份有限公司

 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

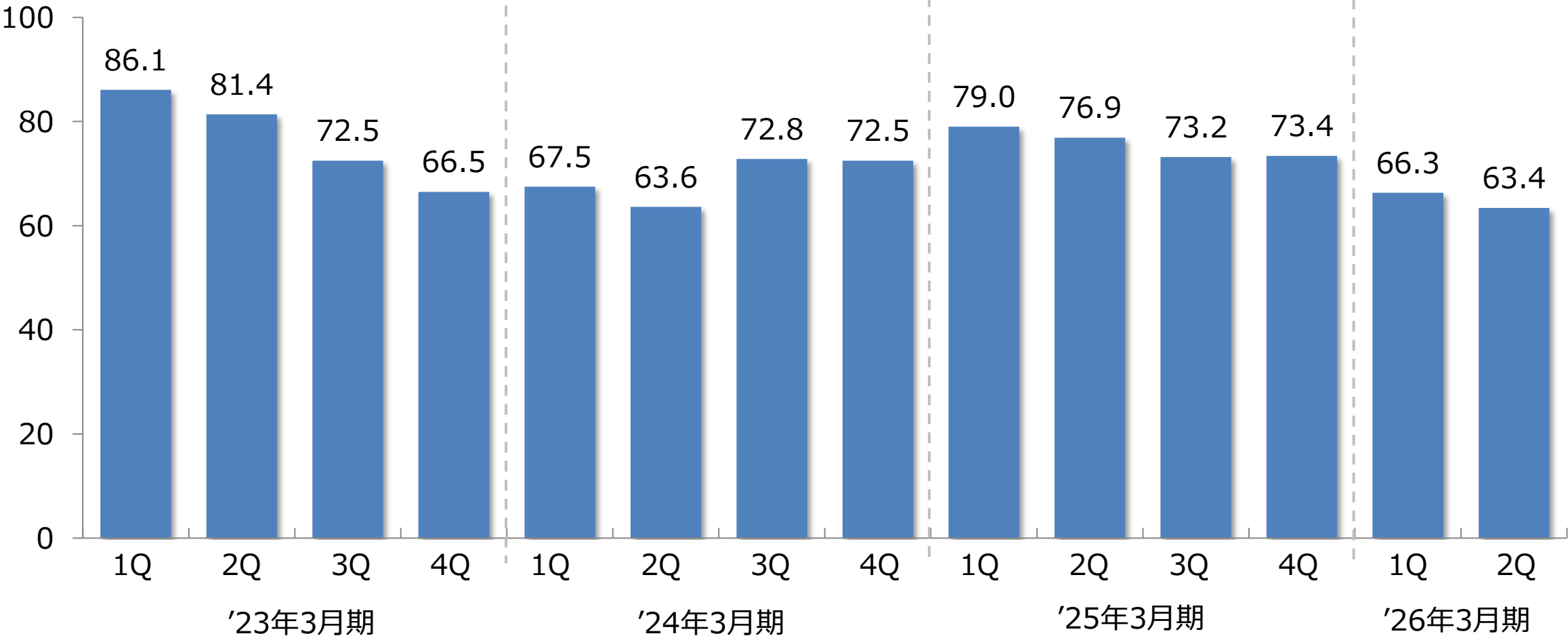


会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
サンノブコ(株)	SNL	三洋化成工業(株)	100%	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、各種工業用薬剤等の製造販売
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業(株) ENEOS(株)	50% 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業(株) Iホニック・インターナショナル ホールディング B.V.	50% 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、ウレタン化反応触媒等の製造販売

会社名	所在国	略号	議決権所有割合		事業内容
三洋化成（上海） 貿易有限公司	中国	SCST	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業(株) VIV, 豊田通商(株)ほか	79% 21%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
台湾三洋化成股份有限公司	台湾	STW	三洋化成工業(株)	100%	輸出入貿易、販売関連業務
Sanyo Chemical America Incorporated	米国	SCA	三洋化成工業(株)	100%	米国子会社の統括会社、 潤滑油添加剤、ウレタン ビーズ等の販売
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	Sanyo Chemical America Incorporated	100%	ウレタンビーズの製造
韓国三洋化成株式会社	韓国	SKK	三洋化成工業(株)	100%	潤滑油添加剤、 界面活性剤等の販売

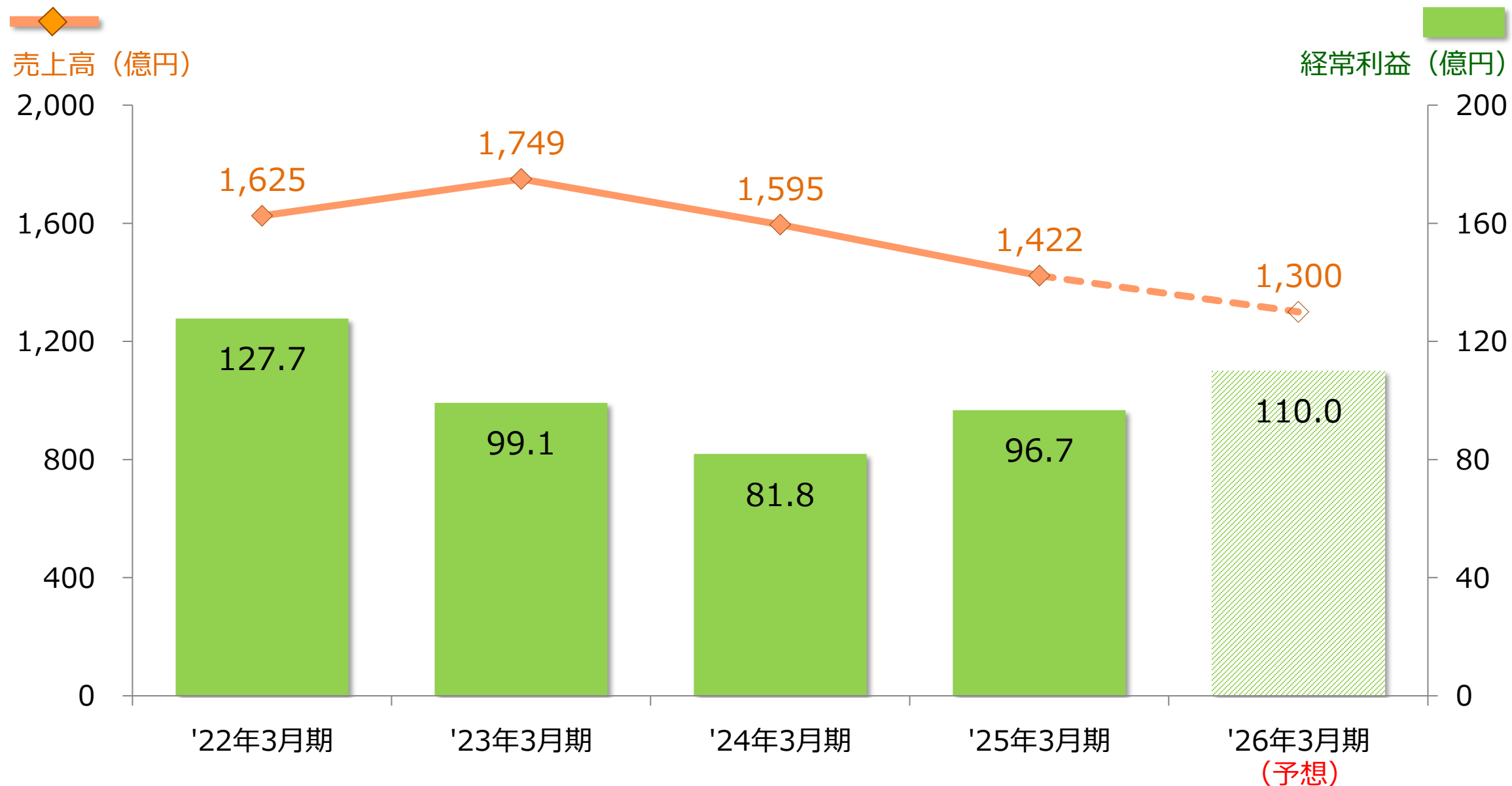
会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業(株) (株)ENEOSマテリアル	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	Sanyo Chemical America Incorporated ニッポン・ケミカル・テキサス	50% 50%	合成ゴム原料の製造
塩浜ケミカル倉庫(株)	塩ケミ	三洋化成工業(株) (株)ENEOSマテリアル	50% 50%	倉庫業

国産ナフサ価格
(千円/kl)

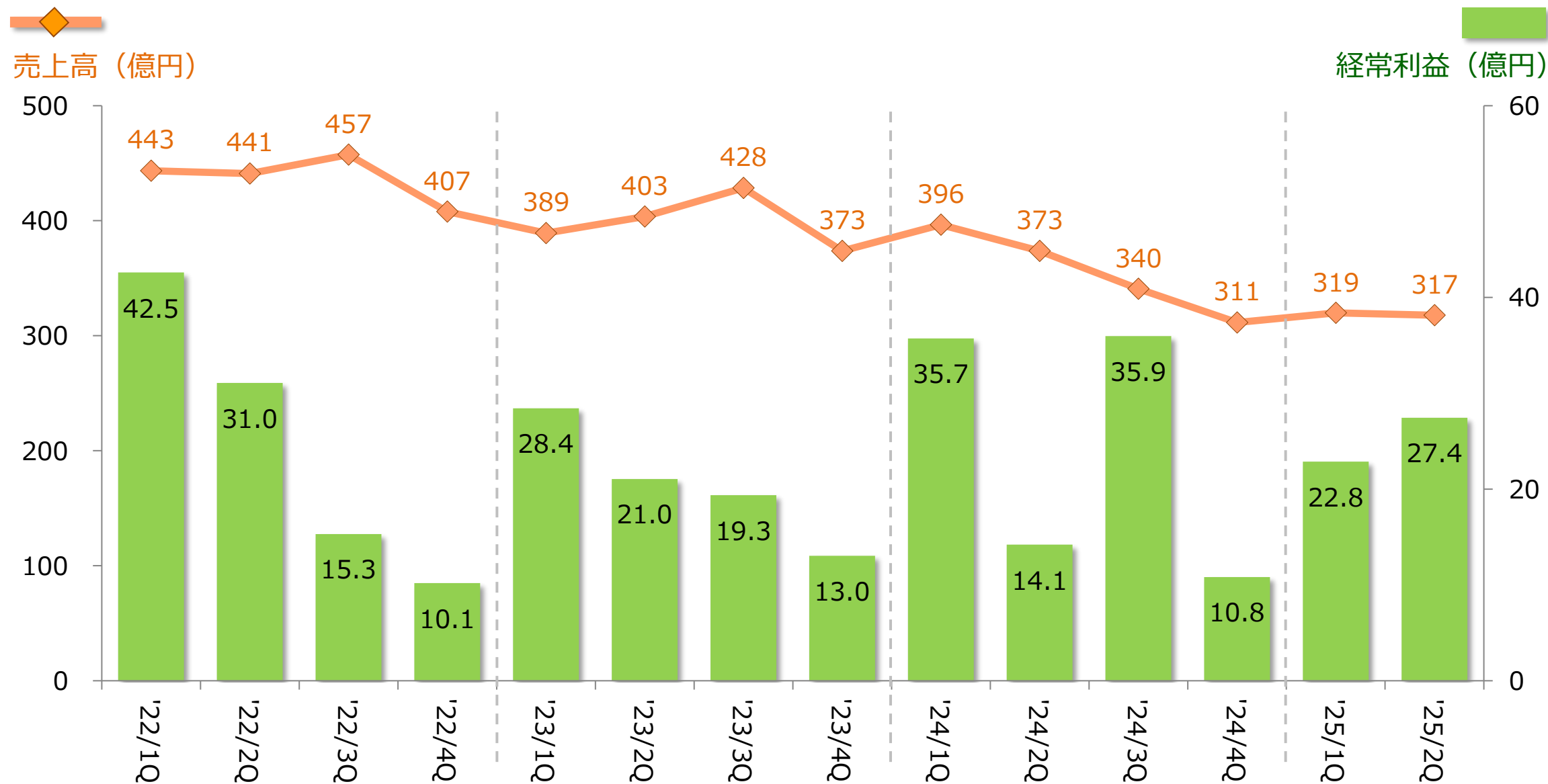


(出典：財務省貿易統計)

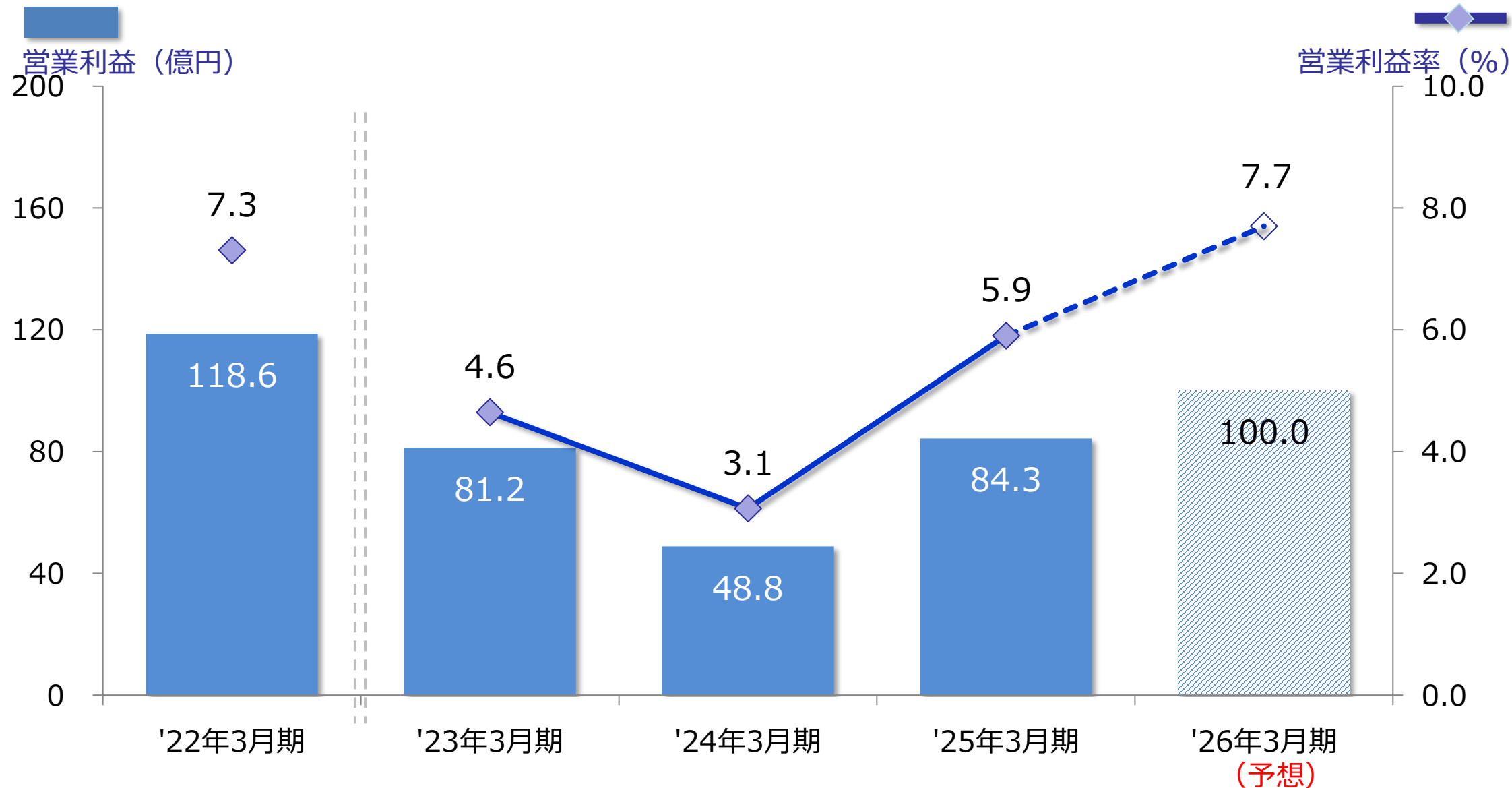
連結業績の推移



連結業績の推移（四半期）

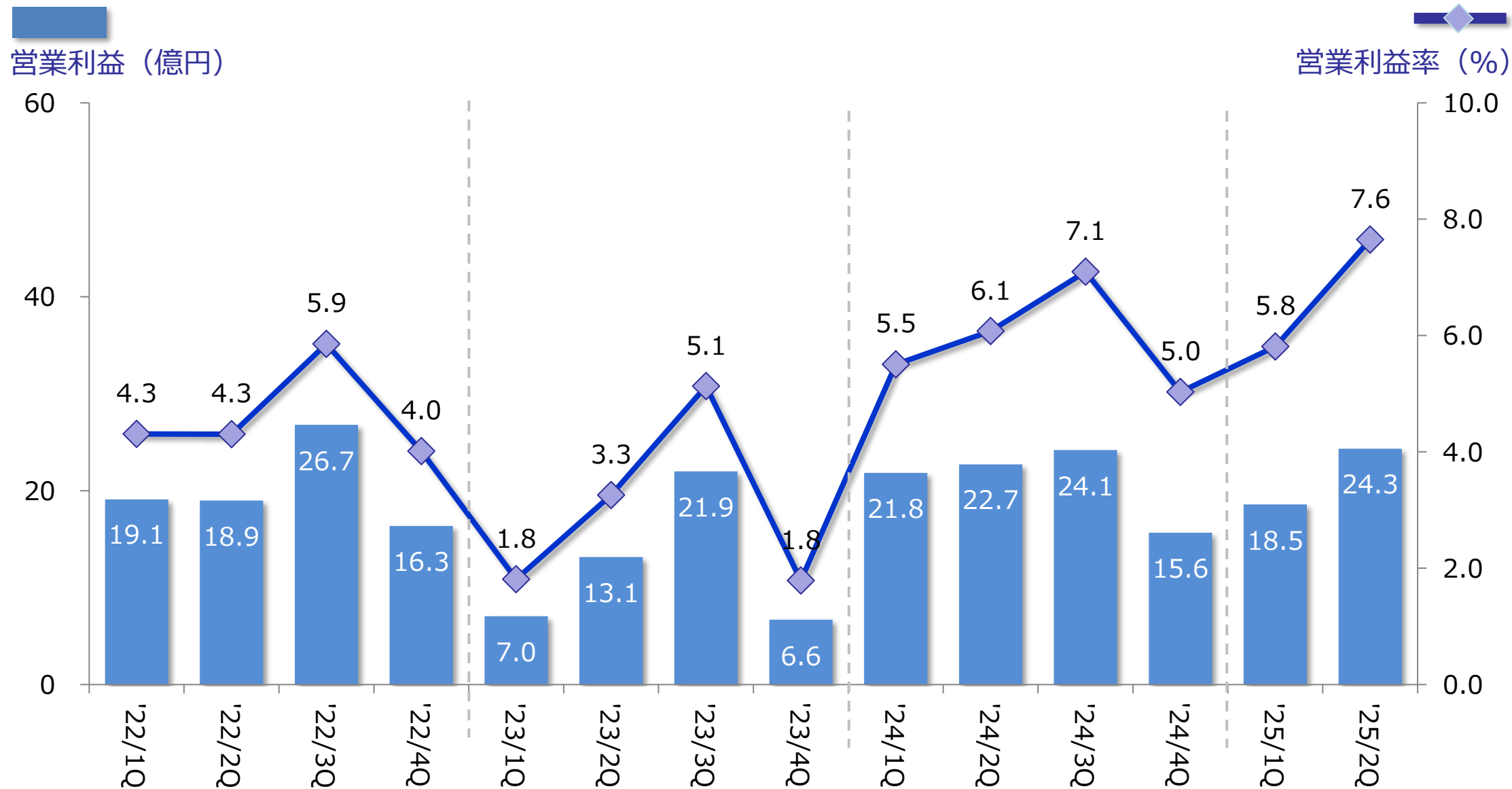


連結営業利益（同率）の推移

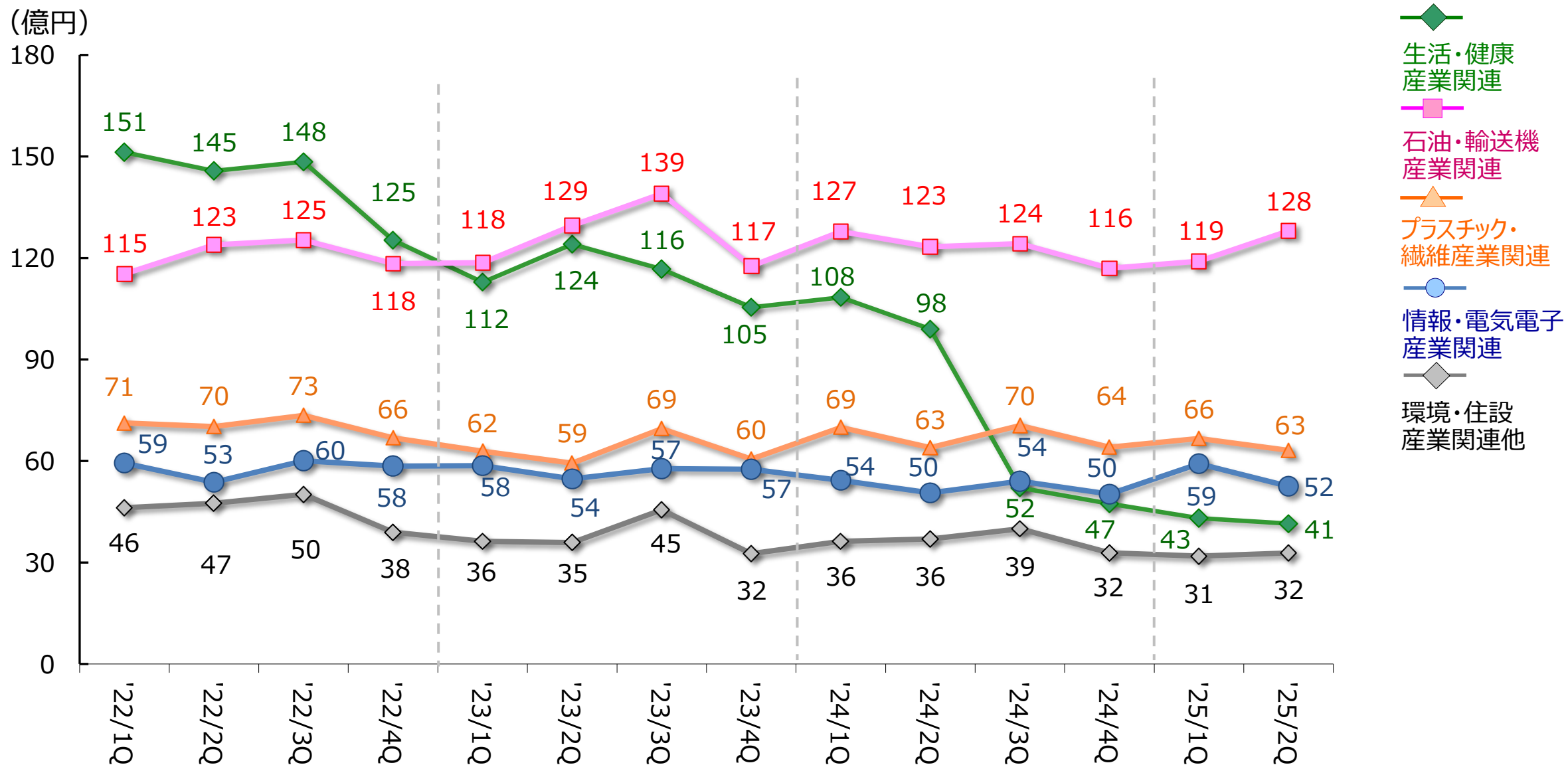


* 一部勘定科目の取り扱いの変更を受け、'22年3月期以前は組み換え前、'23年3月期以降は組み換え後の数値を表示しております。

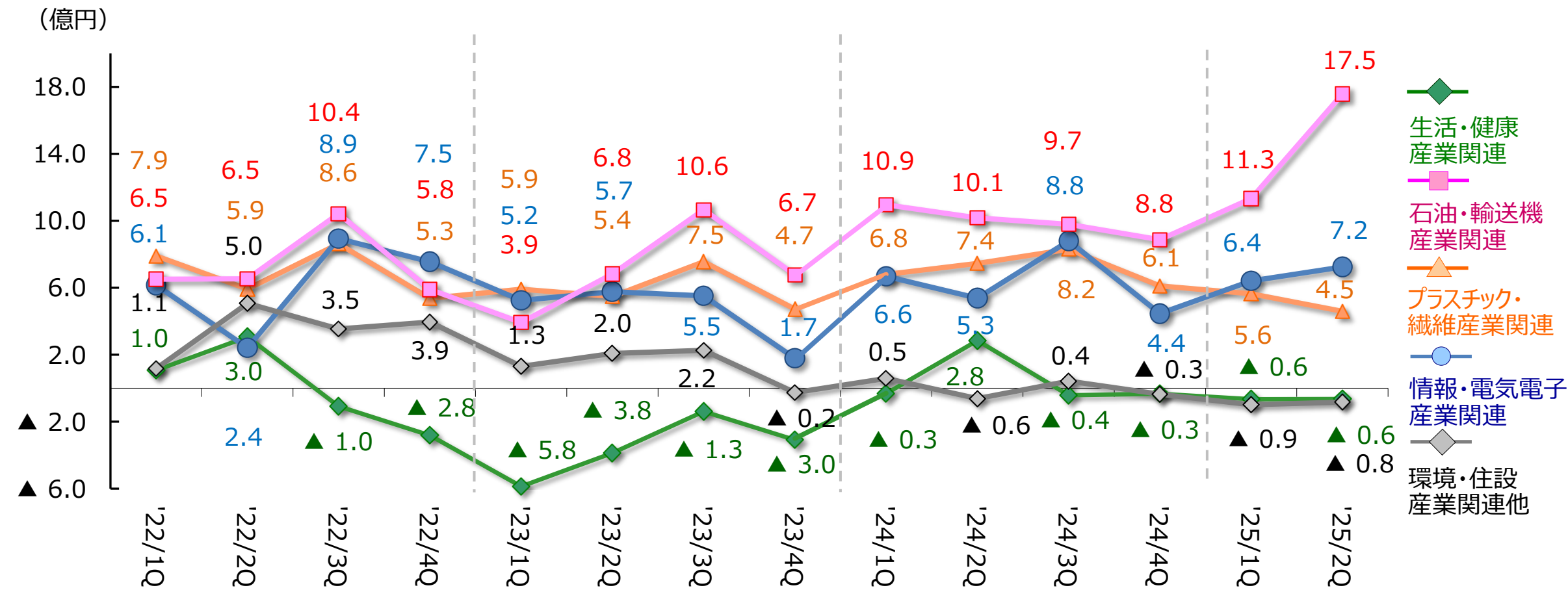
連結営業利益（同率）の推移（四半期）



連結産業分野別売上高の推移（四半期）



連結産業分野別営業利益の推移（四半期）

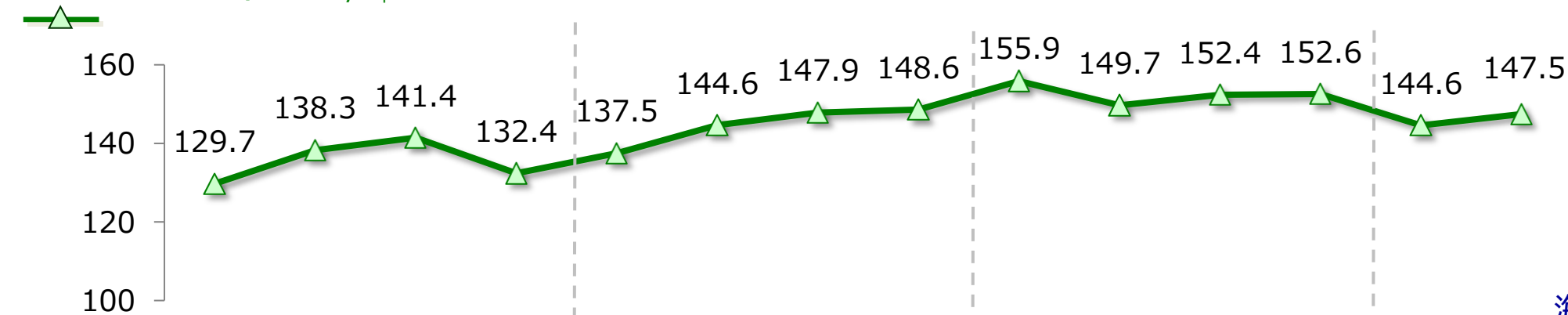


新規事業に係る研究開発費（億円）

'23年3月期				'24年3月期				'25年3月期				'26年3月期	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
▲3.7	▲4.0	▲3.6	▲3.5	▲3.4	▲3.1	▲2.6	▲3.2	▲2.8	▲2.5	▲2.7	▲3.0	▲3.1	▲3.6

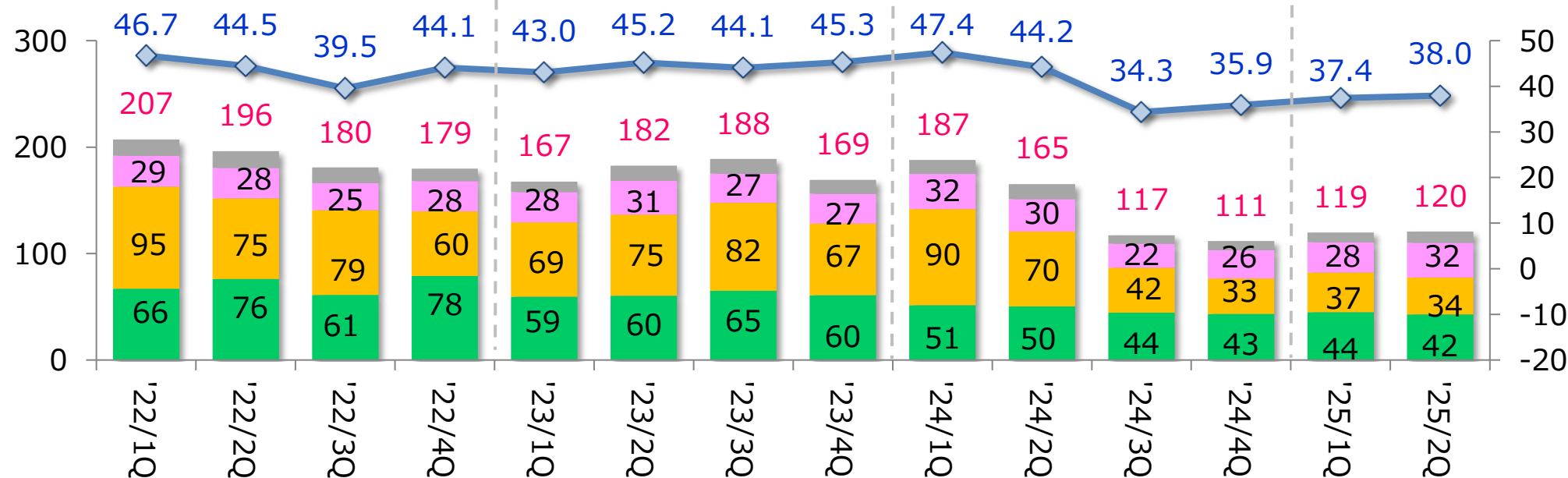
海外売上高の推移（四半期）

為替（期中平均）（円 / \$）

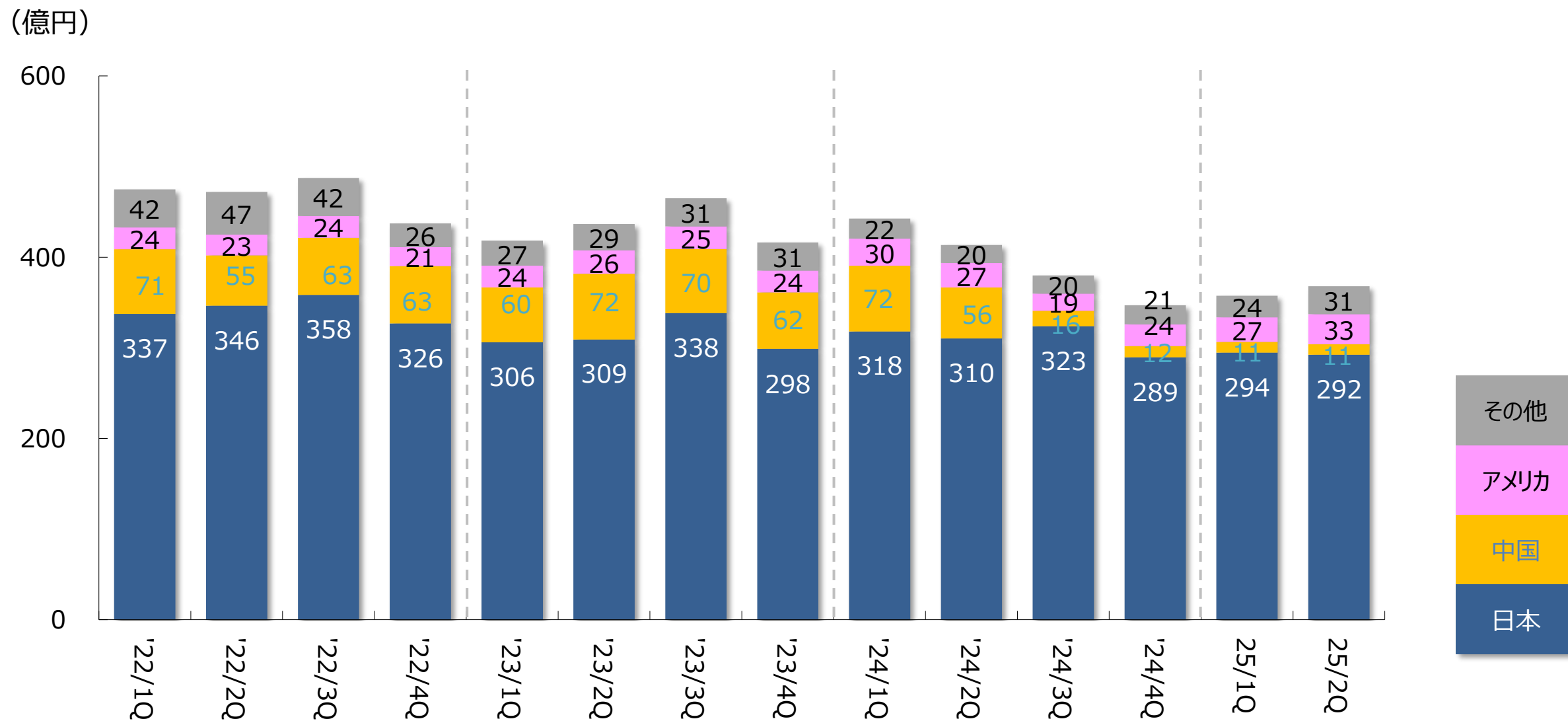


売上高（億円）

海外売上高比率（%）



連結所在地別売上高の推移（単純合算）



連結所在地別営業利益の推移（単純合算）

